

学校法人相愛学園

理事長 相田 芳久 様

令和4年度

焼津幼稚園

学校評価結果報告書

焼津幼稚園

園長 相田 早苗

2月上旬に、園内における教職員による自己評価、保護者を対象にしたアンケート調査を実施し、それらをもとにした園内の自己評価を提出いたしました。それに基づき、2月28日には、学校関係者評価委員会を開き、関係者評価も実施いたしました。その際の評価の詳細についても、あわせて提出いたします。

それらを踏まえ、以下の点を次年度への課題として捉え、重点目標として真摯に取り組んでまいりたいと思います。

#### 《来年度の重点目標として》

- ◎ 友達との生活の中で、一人一人が自分らしさを発揮しながら生活し、子どもの主体性を育むことを基本の重点目標とし、実践を考察しながら保育の質の向上に努める。昨年度の園内研修を継続し、遊びが充実するための園庭の環境の構成、保育者の援助等について研修を進めていく。また、子どもの育ちから感じる課題の中から、育てたい姿に向かって具体的な対応や援助について研修をしていく。園内でのクラス間の公開保育を行いながら保育の点検や子どもの育ちの共有にも引き続き取り組んでいきたい。

以上のように、学校評価のまとめとしてご報告いたします。

令和5年3月16日

# 令和4年度の教育活動に対する学校評価書

令和5年3月7日

学校法人相愛学園 焼津幼稚園長 相田 早苗

学校法人相愛学園 焼津幼稚園学校関係者評価委員長 渡邊 徹

## □ 本園の教育目標

『明るく心豊かに』を建学の精神として、4つの目標を掲げ、それらを達成すべく、独自の教育課程のもとに年間指導計画を立案し、日々の保育に精進する。

教育目標の4つの柱

- |    |           |    |           |
|----|-----------|----|-----------|
| 1、 | じょうぶなからだに | 2、 | いのちをたいせつに |
| 2、 | やるきのあるこに  | 4、 | よくかんがえるこに |

- ・ 体験を通しての学びを中心とした総合的な生活環境の構築を進め、幼児期に身につけたい発達課題の達成を目指す。
- ・ 情操の陶冶を主眼におき、感性の育成をねらった造形教育、音楽教育や健全な心身の育成をねらった体育指導、屋外あそび、自然体験を園生活の軸とする。

## □ 本年度の重点目標

- ① 集団生活の中で、一人一人が自分らしさを発揮しながら主体的に生活していく姿を育む。
  - ・ クラスや友達同士などの集団の中で、その子なりの思いや意欲、力が引き出せるよう援助・指導をしていく。
  - ・ 遊びの充実につながり、子どもの主体性や学びを支える環境の工夫について考える。
  - ・ すべてのクラスで園内公開保育を行い、子どもの育ちや保育者の援助等について学び合う。
  - ・ 今の子どもの姿をもとに、教育課程を見直す。
- ② 子ども、保護者ともに安心な園生活を送ることが出来るよう環境を整え、コロナウィルス感染対策や防災について計画や振り返りを心がける。

□ 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価項目	自己評価		評価点	学校関係者評価委員会
	評価点	取り組み状況・反省と改善策		意見
① 本園での活動や行事が、幼稚園教育要領、本園の教育課程や幼児の発達に即した内容、方法によって、適切に計画性をもって運営されているか。また、主体性を育むことを念頭に置いて指導・援助の工夫や環境設定の工夫がなされたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めには、クラス担任以外の教職員全員で重点目標についての理解や大切にしていくこと等について共有する研修を実施し、共通理解を図るよう心掛けた。</li> <li>・学期末の振り返りや教育行事の事前事後研修に加え、昨年から引き続いての研修“園庭環境の充実と子どもの育ち”について進めた他、教育課程の見直し、全クラス園内公開保育研修も実施。また、9月には焼津市私立幼稚園協会の教員公開保育研修会の実施担当園として公開保育も行った。研修の時間を作ることが難しくなっている中、行事等で多忙な時期には保育者が集まって振り返りをする事ができなかったことは反省として残る。課題に対する具体的な手立ての実践と振り返りについては、まだ不十分なので、次年度は工夫して取り組みたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶えず、子どもの育ちを見つめる場を設けているので、保育者の共通理解が図られ、充実した保育が行われている。</li> <li>・園外での研修会にも出来るだけ参加し、積極的に学びの場をとっているため、安定した指導が展開されている。</li> <li>・園庭の広さを確保し、子どもの遊びの創造的環境を生み出す努力をしている。これらの努力が子どもの安定感を持たせ、主体性を育てている。</li> </ul>
② 一人ひとりの幼児の思いや表現を大切に、保育者それぞれが、個に応じた指導・援助を工夫していたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年特に、集団生活の中で、私達保育者が子ども達に育てほしいと考える姿と、現在の子ども達の姿との差が年々大きくなってきていると感じ、そのギャップに悩むことが増えている。今の子ども達の姿に合わせて教育課程等の見直しもしながら、大切にしたいことについては共通意識をもって過ごせるようにしてきた。豊かな遊びや生活の中でこそ、自分の思いや感じ取りを表現できるであろうと考え、今後も工夫して実践していきたい。</li> <li>・子ども達の表われも様々で個別の援助を必要とする子が増えている現状の中、外部の専門機関とも連携しながら進め</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の絵を地域のお店で飾るなど、その個の作品を認める場になっている。</li> <li>・“これをしたい”“これを作りたい”という姿が増えてきた。その環境を整えてやると、子ども同士で伝えあったり教え合ったりする姿が個の成長を示している。</li> <li>・普段から適切な個への援助について、ベテラン教師が若手教師に援助する雰囲気があるので、個に応じた指導・援助が出来ている。</li> </ul>

<p>③ 防災や保健衛生、特にコロナ禍で感染予防が求められる中、子どもや保護者にとって、安心、安全な環境となっていたか。</p>	<p>A</p> <p>てきている。県私幼の子育て支援カウンセラー派遣事業や市の巡回相談、保育所等訪問支援事業等も活用し、外部の専門員とも情報交換しながら支援にあたっている。家庭環境も様々で、家庭での育ちが気になりな様子もあり、保護者とも必要に応じて面談の機会を設けてたり働きかけたりしてきているが、子どもの育ちについて理解を共有することが難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内での園バスに関する事件を受け、園バスの安全運営について見直しを実施した。園児の乗降に関する記録簿を作成し、運転手と乗務員とのダブルチェックを実施するようにした。</li> <li>・避難訓練については、毎月実施、主に津波避難に特化した訓練、火災訓練では火災による避難訓練と消防署が実施する花火教室を経験した。</li> <li>・学園の養護教諭の指導の下、子どもの健康管理について配慮をしてきた。年長児の視力検査については、通常の検査とは別に就学前に再度経験するなどの対応を行っている。</li> <li>・コロナ対応としては、子どもの生活環境の消毒や三密を避けるための様々な対応を実践してきた。園バスについては抗菌処理も施した。</li> <li>・園の日常的な対応については保護者へ文書で知らせると共に、感染予防については機に応じて啓蒙を図っている。コロナ禍の教育行事の運営についても、その行事を通して育てたいことについて改めて考え、実施可能な形を考え実施するよう努力してきた。昨年、一昨年の実践を踏まえ、より効果的にできるよう計画、実施した。</li> <li>・1年半ばには、コロナと同時にインフルエンザの流行もあり、満3歳児クラスで一日学級閉鎖の措置を講じた。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の積み重ねが、子どもの敏速な行動となっている。</li> <li>・遊具の点検については、職員による点検と専門家による点検も行われている。</li> <li>・園バス運行については、ダブルチェック、欠席者への連絡など確実に行われている。運行については、令和6年度に廃止の方向ということである。</li> <li>・コロナ対策、ふだんの体調管理にも万全を期している。子どもや保護者にとって、安全、安心な園生活となっている。</li> </ul> <p>《特記事項として》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切な指導という点については聞こえてこない。保護者は安心して登園させている。これが“焼津幼稚園”の伝統となり、地域の評価を得ている。</li> </ul>
--	---	--

園内自己評価（個々の教職員の自己点検・評価とともに、保護者アンケート等の資料に基づいた園長としての自己評価）と、学校関係者評価委員会の結果をふまえ、以下の点を次年度への課題を捉え、重点事項としていく。

□ 次年度の重点事項について

- 1、引き続き、子どもが主体的に生活し、遊びが充実していくような環境の工夫、園庭での遊びを豊かにするための環境構成の工夫に取り組む。
- 2、課題に対応した具体的な手立てについて考え、実践し、振り返りを行いながら進めていく。

以上のように、学校評価のまとめとして報告する。